

## 『新型コロナウイルス対策』について(その4)

今、何をすべきか？  
混乱させず・混乱せず、  
常に冷静な行動を

### 発症のきっかけと根本原因

感染者への接触(子供も媒介します) + “体力低下”の認識不足(体力過信)  
⇒体力のバランスが良ければ、ウイルスを貰っても発症には至りません  
(「集団免疫」獲得に貢献して終息するのみ)

### 発症例

疲れている筈の夜間や週末にライブハウスや宴会に出向く・大声を出す・食べる・飲む  
海外旅行から帰国直後の不十分な安静(帰国直後の体調不良はよく見られる現象)  
不安やストレス？／看病疲れ／過剰勤務？  
寝たきり老人への過剰な水分補給や老人食投与・強制的な経管栄養(胃切除施行例も同様)  
根本的な体力の認識不足(糖尿病や高血圧治療例など・コロナウイルス再発症例や遷延例)／男性？  
⇒“お腹の安静”を含めた“十分な安静”に問題あり  
(感染源となり「クラスター」形成などの“拡散”につながります。“適度なストレス解消”は問題ありません)

### 病気の本態

**病初期**: 発熱・肺のむくみ  
(炎症による間質性肺炎様の間質浮腫←過剰な「酸化ストレス」?)・浮腫に並行した脱水(適切な対応により容易に回復可能)⇒的確な初期対応が早期正常化につながります  
**遷延例／重症化例**: 肺のむくみ(間質浮腫)や脱水の持続・発熱継続による免疫力低下(⇒ウイルス性肺炎や全身炎症(SIRS)の合併)

### 重症化の根本原因

お腹(脾臓)を意識した安静を守らない・忘れている  
(高熱でも食べる・水分を大量に飲むなど←「熱中症」の発病と酷似)

YouTube『JPSikaHunter』  
チャンネル内『医者の話』で  
細かな対応策が  
述べられています

### 何が怖いのか？

病初期の急激な病状悪化(主に「呼吸不全」の進行⇒病初期に必ず「酸素濃度」の確認を!・  
「脱水」に起因する循環不全(心臓・腎臓・脳など)⇒高齢者や糖尿病・高血圧などの治療例での  
重症化の原因)⇒いずれも「脾負荷」が関わっている可能性大・脾負荷対策も必要か?

### 遷延例と今後の見通し

回復後も油断せず、身体とお腹の安静維持で遷延化防止を  
極力発症を防ぎ「集団免疫」獲得に貢献を／夏までには終息？／次の冬季には万全を期す